

平成24年9月26日

学生・大学院生 各位
教職員 各位

応用物理学専攻長
ナノサイエンスコース長
工藤 成史
(公印省略)

応用物理学特別講義（集中講義） 「スピントロニクスデバイスと物理機構」

平成24年度非常勤講師 久保田均 先生による特別講義を下記のように開講しますので、本専攻大学院生および学部4年生の多数の聴講を望みます。また、この講義に興味のある他専攻、他コースの学生、および研究者・研究員の方々の聴講も歓迎します。

尚、この特別講義は講師の認定を受ければ、大学院生と学部4年生の1単位の認定科目になります。

講師：久保田 均 先生
(産業技術総合研究所 ナノスピントロニクスセンター)

講義概要：スピントロニクスは、学理と応用が密接に絡み合いながら急速に進展を遂げている。これまで、スピントロニクス分野の研究成果が高密度磁気記録システム、磁気センサーなどのデバイスに生かされ、日常生活に不可欠な技術となっている。本講義では、スピントロニクスデバイスの構造を理解し、その背景にある物理を理解することを目的とする。

1. はじめに
2. スピントロニクスデバイスの構造と機能
3. 磁性の基礎
4. 磁性層間の磁氣的相互作用
5. 磁性素子における磁気抵抗効果
6. スピントルク磁化反転
7. 高周波スピントロニクス

日 時：平成24年10月18日（木）～10月19日（金）

講義室：工学研究科 電子情報システム・応物系 南講義棟(D18棟) 103講義室

講義時間：

10月18日(木) 9:00～12:00、13:00～15:00

10月19日(金) 9:00～12:00、13:00～15:00

※ なお、10月18日（木）15:30～17:00に応用物理学セミナー

「スピントロニクスデバイスの進展」を開催します(会場は103講義室)。

連絡先：応用物理学専攻 安藤 康夫 795-7946